

浜田市

まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス⁺（案）

浜田市は、若者が暮らしやすいまちをつくります！

～ 「浜田で出会い・結婚・出産・子育て」 応援プログラム ～

令和 2 年 12 月 追加

I 背景

当市の人口推移を見ると、若者の就学や就職による転出者数が増加し、それにともない出生数の減少が進んでいる状況にあります。15歳から39歳までの人口は、現在の「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した5年前と比較すると14.6%減少し、元気で活力ある地域づくりに欠かせない若い世代の定着が課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、地方への暮らしが見直されつつある中、地方への人口分散の受け入れ態勢、特に、テレワーク等の新たな生活様式に対応できる基盤整備が求められています。

島根県では、今年の3月に新たな島根創生計画を策定し、基本目標の一つとして、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ことを掲げて取組を始めており、本市も、国や県の戦略と歩調を合わせて人口減少対策に取組む必要があります。

そのような背景のもと、「浜田市まち・ひと・しごと総合戦略」では、昨年、計画期間を2年延長し、今後の新たな取組として、次の施策を展開することとし、この施策については、総合振興計画後期基本計画（令和4年度～令和7年度）にも引き継いで取り組んでいくこととしています。

「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス」のイメージ

現状

企業促進奨励金	ふるさと農業研修生受入事業	企業立地促進事業
起業家支援プロジェクト	第3子以降保育料軽減事業	無料職業紹介事業
浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (平成27年度～令和3年度)		
雇用促進協議会事業	乳幼児等健康診査事業	敬老乗車券交付事業
安心お産応援事業	児童医療費助成事業	ほか



追加

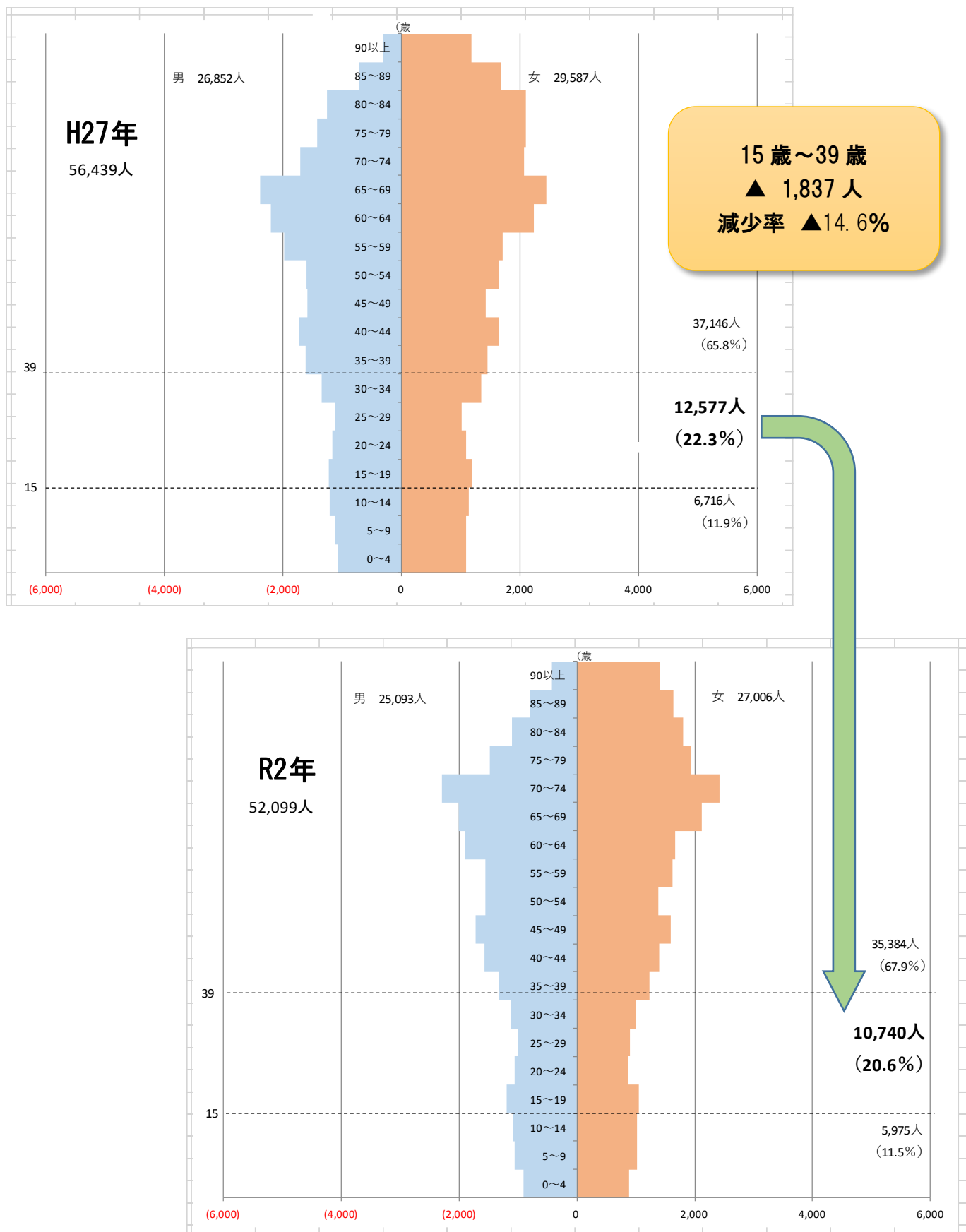
浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス⁺

浜田市は、若者が暮らしやすいまちをつくります！

～「浜田で出会い・結婚・出産・子育て」応援プログラム～

(令和3年度～令和7年度)

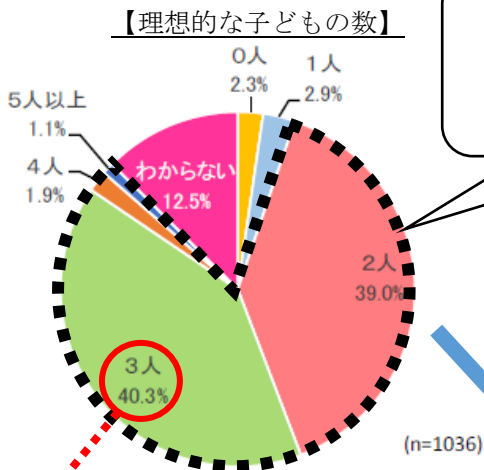
【浜田市の年齢階層別人口】



※ 住民基本台帳より（外国人を除く）H27. 5. 1 現在 及び R2. 10. 1 現在

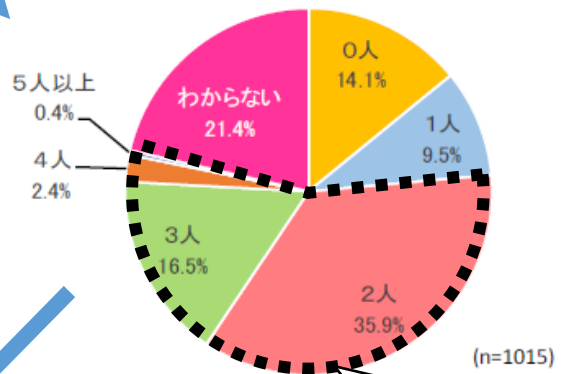
II 現状

① 子供の人数



理想的な子どもの数は
2人以上が8割を超えます！

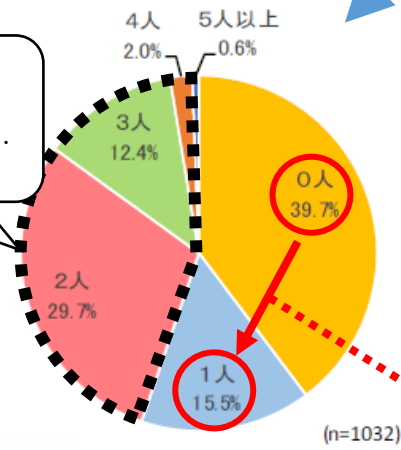
【実際に予定している子どもの数】



予定している子どもの数でも
2人以上が5割を超えます！

施策2
理想の子どもの数へ

【子どもの数】



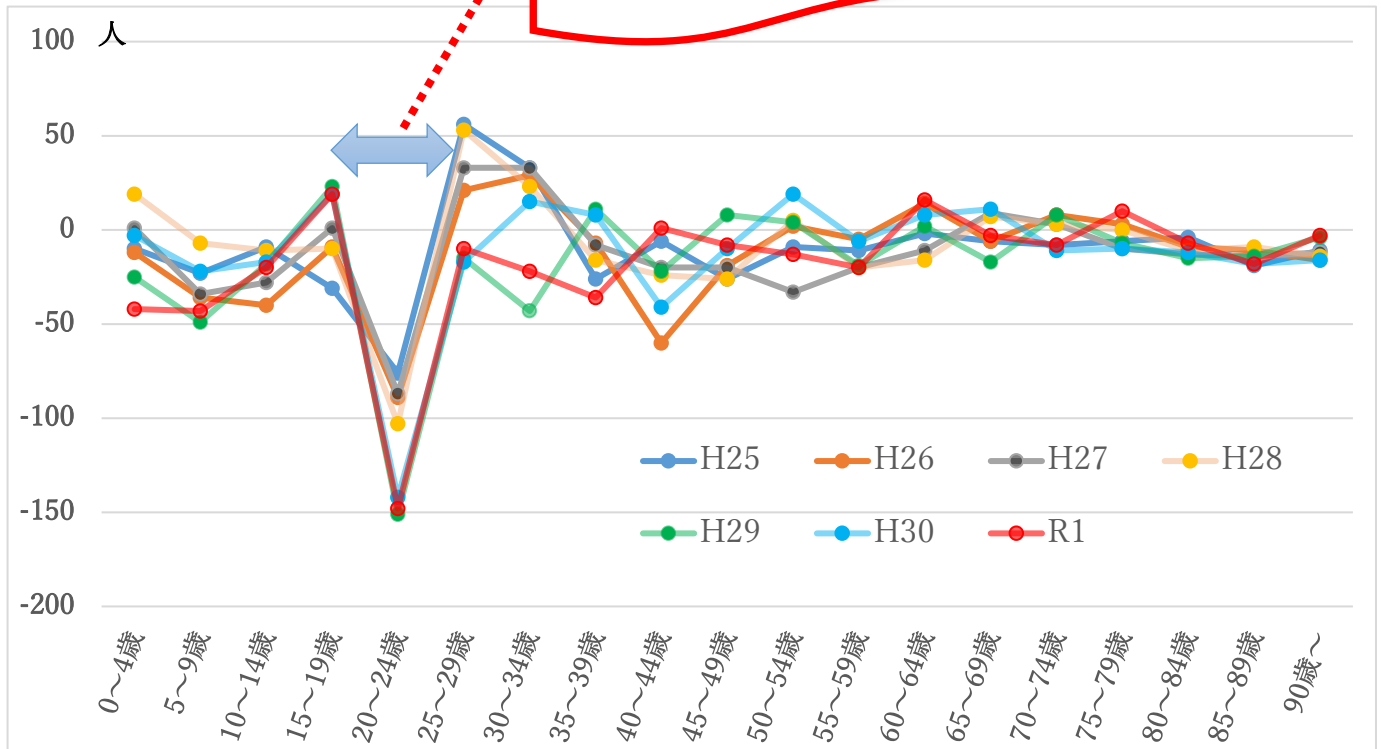
子どもの数では
2人以上が5割以下に…

施策1
子どもの数を0から1へ

グラフは令和2年4月「しまねっ子すくすくプラン別冊」から引用

② 若者の社会増減数

施策3
若者の社会減を減らす
施策4
新たな生活様式へ



(単位：人)

	0 ～ 4歳	5 ～ 9歳	10 ～ 14歳	15 ～ 19歳	20 ～ 24歳	25 ～ 29歳	30 ～ 34歳	35 ～ 39歳	40 ～ 44歳	45 ～ 49歳	50 ～ 54歳	55 ～ 59歳	60 ～ 64歳	65 ～ 69歳	70 ～ 74歳	75 ～ 79歳	80 ～ 84歳	85 ～ 89歳	90歳 以上
H25	-10	-23	-9	-31	-76	56	33	-26	-6	-26	-9	-11	-2	-6	-8	-6	-4	-19	-11
H26	-12	-36	-40	-9	-89	21	29	-7	-60	-19	2	-5	14	-6	8	3	-9	-11	-16
H27	1	-34	-28	1	-87	33	33	-8	-20	-20	-33	-20	-11	9	3	-10	-13	-14	-12
H28	19	-7	-11	-10	-103	53	23	-16	-24	-26	5	-20	-16	7	3	0	-11	-9	-14
H29	-25	-49	-18	23	-151	-15	-43	11	-22	8	4	-19	2	-17	8	-7	-15	-14	-4
H30	-3	-22	-17	19	-142	-17	15	8	-41	-10	19	-6	8	11	-11	-10	-12	-18	-16
H31	-42	-43	-20	19	-148	-10	-22	-36	1	-8	-13	-20	16	-3	-8	10	-7	-18	-3

III 新たな取組



【施策1】 出会い・結婚・出産への支援 ～子どもの数を0人から1人へ～

8割以上の方が、子どもを1人以上欲しいと考えている中、実際の子どもの数では0人が約4割を占めている状況です。子どもが欲しい人への支援を充実することで、理想とする子どもの人数を産み育てることができる浜田市を目指します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
結婚祝金交付件数 ※目標値は5年間の累計件数	0件 (令和2年度)	550件 (令和7年度)
認定事業所数 ※目標値は5年間の累計事業所数	0事業所 (令和2年度)	70事業所 (令和7年度)
一般不妊治療費助成件数 ※目標値は5年間の累計件数	63件 (令和元年度)	350件 (令和7年度)
特定不妊治療費助成件数 ※目標値は5年間の累計件数	32件 (令和元年度)	200件 (令和7年度)

(具体的に考えられる事業)

- 出会い創出事業【拡充】
⇒ 民間団体が行う出会い創出を支援
- 結婚支援事業【新規】
⇒ 結婚に対する祝金を交付
- 出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定制度【新規】
⇒ 従業員の出会いから子育てを制度や休暇取得等によって応援している事業所を認定
- 産前産後家事サポート【拡充】
⇒ 妊娠中から生後6か月までの子どもを持つ親に対するお試し券の無料配布
- 不妊治療支援事業【拡充】
⇒ 一般不妊治療・特定不妊治療ともに現行制度を拡充



【施策2】 第3子の出生に向けた支援 ～理想の子どもの数へ～

理想的な子どもの数が3人という数字が約4割を占めるなか、予定している子どもの数や実際の子どもの数は0人から2人が大半を占めています。3人目の出生について、重点的に支援していくことで、出生数の増加につなげる施策を展開します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
第3子以降出生祝金交付件数 ※目標値は5年間の累計件数	0件 (令和2年度)	350件 (令和7年度)

(具体的に考えられる事業)

- ① 第3子 子育て支援事業【新規】
⇒ 第3子に対し、次の支援を展開します。

• 出生祝金支給
• 保育料無償化
• 保育所給食費等無償化

② その他の子育て支援事業

- ファミリーサポート利用者負担軽減【拡充】
⇒ 生後3か月から小学校6年生までの子どもに対するお試し券の無料配布
- 紙おむつ廃棄用ごみ袋配布事業【新規】
⇒ 0歳から2歳までの乳幼児親権者に対し、紙おむつ廃棄用のごみ袋を配布
- 学校給食費支援事業【継続】
⇒ 現行の「学校給食費激変緩和策」の延長
- 産前産後家事サポート（再掲）
- 出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定制度（再掲）

【施策3】若者の暮らしやすいまちづくり ～若者の社会減を減らす～



移住希望者と人手不足に悩む地元事業所とのマッチングを行う事業協同組合を支援するなど、若者等の定住の促進を図ります。また、若者の暮らしやすいまちづくりに向けた新たな発想、施策を展開するため、異業種の若者が集い、語り合う場所を提供します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
15歳から39歳までの人口	10,740人 (令和2年度)	10,000人 (令和7年度)

※ 目標値は、若者世代が毎年200人程度減少するという推計を踏まえ、減少幅を150人程度にとどめるよう設定

(具体的に考えられる事業)

- 特定地域づくり事業協同組合支援事業【新規】
⇒ 音大卒業生を募り、市内でのスキルを活かした活動をサポート
- はまだITらば設置事業【新規】
⇒ ITを核としたワーキングスペースやシェアオフィスを設置し、若者の交流を図る
- 若者女性会議設置事業【新規】
⇒ 若者で構成された組織を立ち上げ、若者の発想による新たな施策を実現
- 移住定住サイト作成事業【新規】
⇒ 若者のU・Iターン者に特化した移住定住サイトの構築
- 学生等就学支援事業【新規】
⇒ 浜田医療センター附属看護学校等の学生への奨学金支給

【施策4】新たな生活様式への対応 ～新たな生活様式へ～



新型コロナウイルスの感染拡大により、テレワークや新たな生活様式、地方への人口分散に対応するため、通信基盤の整備が最優先の課題と考え、全市に高速通信基盤を整備します。この基盤整備により、今後のデジタル推進（DX推進）へと繋がります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
高速情報通信基盤整備進捗率	0% (令和2年度)	100% (令和7年度)

(具体的に考えられる事業)

- 高速情報通信基盤整備事業【新規】
⇒ 市内のケーブルテレビ回線の光回線化

浜田市は SDGs (持続可能な開発目標) を支援しています。
表紙のロゴは、新たな取組を SDGs 17 のゴールで表しています。



SDGs とは : Sustainable Development Goals の略であり、2015 年 9 月の国連サミットで採択